

<同時資料提供先>

令和6年2月22日

合同庁舎記者クラブ・島根県政記者会・中国地方建設記者クラブ

令和5年度「手づくり郷土賞（国土交通大臣表彰）」の 認定証授与式を行います

「手づくり郷土賞」は、社会資本と関わりをもつ地域づくりの優れた取組を表彰し、好事例を広く全国に紹介することで、個性的で魅力ある地域づくりに向けた取組が進むことを目的として実施している国土交通大臣表彰です。（参考資料1）

令和5年度手づくり郷土賞において、中国地方では一般部門から2件の取組が認定されました。これを受けて、以下のとおり認定証の授与式を行いますのでお知らせします。

<認定案件名：尾原ダム地域活性化の取組み～地域とともに10年、そしてこれからも。～（資料1）>

【授与式の日時、場所】

日時：令和6年3月2日（土）10：00～10：30

場所：尾原ダム管理所 会議室（〒699-1342 島根県雲南市木次町平田 211-5）

【出席者】

受賞団体：さくらおろち湖活性化ネットワーク会議 NPO 法人さくらおろち 理事長
出雲河川事務所長

授与者：中国地方整備局 副局長

来賓：雲南市長、奥出雲町長、松江市長

<認定案件名：「幻の広浜鉄道今福線」を活かした地域活性化（資料1）>

【授与式の日時、場所】

日時：令和6年3月5日（火）14：30～15：00

場所：石見まちづくりセンター 佐野分館（〒697-0311 島根県浜田市佐野町イ 377-1）

【出席者】

受賞団体：今福線を活かす連絡協議会 会長
浜田市長

授与者：中国地方整備局 副局長

■（参考）全国における選定結果

部門	件数
一般部門	13件
大賞部門	2件

本省記者発表：https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03_hh_000318.html

■取材について

取材を希望される場合は、別紙1「取材申込書」に必要事項を記載の上、事前に申し込みをお願いします。

【問い合わせ先】 国土交通省中国地方整備局 TEL (082) 221-9231（代表）
 （担当）企画部 事業調整官 桑嶋 弘志（内線3116）
 建設専門官 児玉 克史（内線3212）

<申し込み先>

国土交通省中国地方整備局

企画部 広域計画課 建設専門官

企画部 広域計画課 係長

こだま かつし
児玉 克史
ふじかわ たかし
藤川 貴司

F A X : 082-511-6359

E-mail : cgr-maintenance@cgr.mlit.go.jp

取材申込書

取材を希望される方は、以下に必要事項をご記入の上、上記の申し込み先へFAX又はメールでお申し込みください。

令和 6年 月 日

会社名・部署名・緊急連絡先（代表電話番号等）

（代表）取材者の役職・氏名・連絡先（携帯番号等）・来場予定人数

<連絡事項>

- 取材にあたっては係員の指示に従い、授与式の妨げにならないようご協力をお願いします。

■認定案件1 (島根県・浜田市)
「幻の広浜鉄道今福線」を活かした地域活性化



今福線ウォーキング開会式



全国未成線サミットでの現地エクスカーショ

<活動内容>

戦争等の理由により未成線となった幻の鉄道遺産、今福線。平成20年に今福線コンクリートアーチ橋が推奨土木遺産認定されたことを契機に、この鉄道遺産を観光交流や地域活性化に活かすべく「今福線を活かす連絡協議会」を平成28年に結成。協議会は地元団体と技術士会から成り会員数31名。鉄道遺構の維持管理や調査・研究をしながらツアー受け入れや学生へのふるさと学習を実施。令和5年2月のウォーキングイベントには、参加者183名のうち県外から17名の参加もあり、インフラツーリズムとして好評。

<地域活動団体>

今福線を活かす連絡協議会

<対象となる社会資本>

広浜鉄道今福線遺構 ※管理者: 浜田市

■認定案件2 (島根県・雲南市、奥出雲町)
尾原ダム地域活性化の取組み
～地域とともに10年、そしてこれからも。～



尾原ダムクレストゲート点検放流風景



環境美化活動(企業CSR)、表彰式

<活動内容>

斐伊川上流に平成24年3月末に完成した尾原ダムで、地域住民・活動団体が尾原ダム水源地域ビジョンに基づき、地域活性化に関するさまざまな取り組みを実施している。
毎年3月第1土曜日に開催する「尾原ダムクレストゲート点検放流」(毎年3月)は年々来訪者が増加、毎年10月に開催される「さくらおろち湖祭り」は約3,000人を集客するダム湖周辺における最大のイベントとなっている。また、ダム湖や周辺施設を利用したスポーツイベントや環境保全活動などを実施し、周辺地域の活性化に寄与している。

<地域活動団体>

さくらおろち湖活性化ネットワーク会議

<対象となる社会資本>

尾原ダム(さくらおろち湖) ※管理者: 中国地方整備局

◆手づくり郷土賞の概要

地域の個性・魅力を創出し、良質な社会資本及びそれと関わりをもつ優れた地域活動を広く募集・発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、個性あふれ活力ある郷土づくりに資することを目的として、昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰制度。令和5年度で38回目。

【大賞部門】

過去に受賞した団体で、その後の活動が発展している団体を対象とした部門

【一般部門】

はじめて受賞する団体を対象とした部門

(参考)手づくり郷土賞の過去の受賞案件は以下のURLに掲載しています。

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/>

◆手づくり郷土賞選定委員会

有識者からなる手づくり郷土賞選定委員会により、幅広い観点から審査し選定します。

手づくり郷土賞選定委員会（令和5年度）

委員長	野澤 康	工学院大学 建築学部まちづくり学科 教授
委員	河野 まゆ子	株式会社JTB総合研究所 執行役員 地域交流共創部長
委員	小浦 久子	神戸芸術工科大学 芸術工学部環境デザイン学科 教授
委員	斉藤 俊幸	イング総合計画株式会社 代表取締役／地域再生マネージャー
委員	坂元 英俊	一般社団法人 地域観光研究所 代表理事
委員	真田 純子	東京工業大学 環境・社会理工学院 教授

(敬称略)